

【2/25(土)18:30~】約50団体から構成する「因幡麒麟獅子舞の会」
設立総会を開催します

このたび、鳥取県を代表する民俗芸能として知られている「因幡の麒麟獅子舞」の各保存会が集い、後継者育成事業や広報事業など麒麟獅子舞の伝統文化を後世に残すことを目的とした「因幡麒麟獅子舞の会」を設立することといたしました。

設立にあたって下記のとおり設立総会を開催することといたしましたので、報道機関の皆様におかれましては、ぜひご取材いただきますようお願い申し上げます。

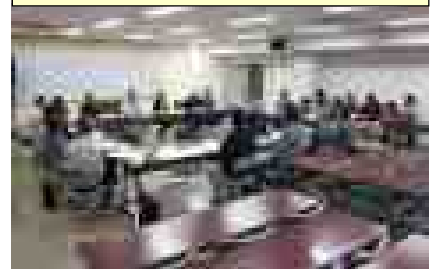
記

1. 日時 2月25日（土） 18:30~20:00
2. 会場 鳥取県立生涯学習センター 県民ふれあい会館 5階 講義室
（鳥取市扇町21番地）
3. 参加者 「因幡麒麟獅子舞の会」に加盟する保存会 約50団体

各保存会では、麒麟獅子舞は地域を特徴づける文化であり、地域の絆を育む大事な取り組みであるとの思いをもって様々な方策を講じながら守り伝えています。しかしその一方で、後継者不足など地域を取り巻く課題の中で麒麟獅子舞の伝承が絶たれてしまった地区があることも事実です。

同会を発足させることによって各保存会が互いに助け合い、交流や情報交換を行うことで、地域全体で麒麟獅子舞を伝承していくことを目指すものです。

設立に向けた発起人会の様子



■麒麟獅子舞の由来・沿革

因幡地区に古くから伝わる麒麟獅子舞は、鳥取藩初代藩主池田光仲が日光東照宮の御神霊を祀る鳥取東照宮を建立（1650年）し、その祭礼の行列に麒麟獅子舞を登場させたのが始まりだと言われています。

鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町に広く分布しており現在は約140余の保存会が活動を行っています。

